

令和 7 年 12 月 理事会報告			
広報-HP,生涯教育,食育推進,在宅医療-介護,スポーツ栄養・JDA-DAT 委員会			
日 時	11 月 29 日 (土) 時間 11:30~12:30	場 所	名古屋東生涯学習センター 視聴覚室
出席者	糟谷晶美、上原正子、岩田愛、小田まどか、加藤郁子、稲吉美和 広瀬輝美、天野薫(事務局)		
協議事項 及び 決定事項	令和 7 年度名古屋市いきいき教室受託事業について 日時：令和 7 年 11 月 15 日 (土) ~令和 8 年 2 月 14 日 (土) 内容：65 歳以上の低栄養の方へのフレイル予防指導 A 型教室 ①個別指導 ②体重・握力測定 ③集団指導 * 2 月 14 日は 1 回目と同じ担当者が個別相談できるように、11 月 29 日の班分けで行う、 * はがき案内で受付場所を視聴覚室か第 2 集会室か明記する。 B 型教室 ①集団指導 ②グループワーク * 申込者が誰も来なかった場合は各担当者にレポートを出してもらう * 教室の初めにタイムスケジュールを伝えてもらうよう各担当者に連絡する 会場:各区生涯学習センター 担当者は会場にて愛知県栄養士会のブルゾン着用 令和 8 年度の事業計画案について 令和 7 年度と変更なし、ただし、研修会は 1 回にする 令和 7 年度第 4 回食育推進運営委員会 日時：令和 8 年 2 月 14 (土) 午後 会場:名古屋東生涯学習センター		
理事会での 検討事項	栄養相談で着用するエプロンの新規購入 洗濯では落ちない汚れが目立つものが増えているため		
今後の 検討事項	令和 8 年度の事業計画について		
委員会の課 題	栄養ケア・ステーション登録者の増員 栄養相談に従事する栄養士の資質の向上		

報 告 書		令和 7 年 10 月 1 日	
		報告者	糟谷 晶美
会議の名称			
主 催	(一社) 愛知県歯科医師会		
共 催	公社) 愛知県栄養士会、愛知県教育委員会		
後 援	愛知県農林水産部食育推進課、中日新聞社、(一社) 愛知県歯科技工士会		
日 時	令和 7 年 9 月 28 日 (日) 午後 1 時～午後 4 時 00 分まで		
場 所	愛知県歯科医師会館 (名古屋市中区丸の内三丁目 5 番 1 8 号)		
出席者	愛知県歯科医師会：今泉 新美 市川 学 識 経 験 者：中出 (東海学園大学)・上原 (愛知みずほ短期大学) 愛知県栄養士会：岩田、糟谷		
内 容	1 事業の詳細 ・事業名：「第 15 回 もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト」 ・内 容：キッズレシピ、地産地消、高齢者、の 3 部門でレシピを募集。 審査基準は 3 部門とも「もっとよく噛んで食べるように工夫されていること」「手軽に作れること」「丈夫な歯や噛む力を養う配慮がされていること」「栄養バランスが考慮されていること」の条件を満たすものとされている。		
	2 審査方法 ・応募総数作品中部門不明作品を除く、作品を審査対象とした。(応募全 485 作品) (キッズ-117 作品 地産地消-181 作品 高齢者-187 作品) ・第 1 次審査：部門ごとに書類項目を満たしていない作品を除外 ・第 2 次審査：審査基準に基づき各部門で作品を選定 ・第 3 次審査：各部門からそれぞれ金賞 1 作品、銀賞 2 作品選定した。 その他に学校賞として愛知県栄養士会会長賞を 1 校選定した。		
内 容	3 その他 ・今回は応募部門不明のものも全作品、歯科医師会で振り分けられていたので、審査対象外の作品はなかった。		
	・キッズの部門では、学校単位で応募しているものが多かった。 ・学校単位での応募が多かった。 ・管理栄養士や栄養士、一般からの応募が増えた。 ・学校単位ではグループで作ったのか似通ったレシピが見受けられた。		

令和7年度事業(計画案)

事業担当部署：食育推進運営委員会報告者 糟谷晶美

事業区分		公益			
事業名称		チュウキョ〜くんのすこやかフェスタ2025			
事業概要	目的	県民の皆様の健康づくりを推進をすることを目的とした健康づくり・子育て応援イベント			
	内容	日 時	令和7年10月11日(土)・12日(日) 10:00～16:00		
		場 所	ポートメッセなごや 名古屋市国際展示場 第2展示館		
		対象及び参加予定数	来場者(子育て世代中心)100名(2日間)		
	結果と成果	内容のプログラム等	はじめての食事 栄養相談(乳幼児の食事中心)		
		参 加 者	相談員:11日(土)6名・12日(日)6名 合計12名		
		結 果 概 要 等	相談数:11日(土)39件・12日(日)48件 合計87件		
		昨年度より、保護者からの離乳食や幼児食に関する「栄養の相談」を主に実施することとした。昨年度とほぼ同じ相談数となったものの、他の職種の事業内容が子ども参加型が多いことから、本会コーナーが人が集まりやすい配置にもかかわらず、関心なく通り過ぎる方が多かったように感じた。相談内容は昨年同様「偏食・食べムラ」進め方」「食事量」「野菜嫌い」に関する相談が多く、食物アレルギーを持つ幼児の災害時の対応についての相談などもあった。プレコンへの理解の視点も考えていくことが必要なことから、相談を受けるだけでなく、プレコンをPRすることができる資料を配布しながら食の大切さを啓発する機会することや子どもが参加できる内容の検討も必要と考える。			
			収入金額	支出金額	残額
当初予算		令和7年度予算	0	93,000	-93,000
当年度実績		令和7年度実績	0	90,755	-90,755
予算	収入	科目	金額	積算基礎	
		事業収入			
	計		0		
		諸謝金	48,000	4,000円×12名(6名×2日間)	
	支出	旅費交通費	30,000		
		そ の 他	15,000	消耗品費	
計		93,000			
決算	収入	事業収入			
	計		0		
		諸謝金	46,440	12名分(1H×1,080円)	
	支出	源泉所得税	5,274		
		旅費交通費	29,340	14名分	
		通信運搬費	7,325	車両使用料+ガソリン代+駐車場代	
		通信運搬費	2,376	振込手数料9名分	
計		90,755			